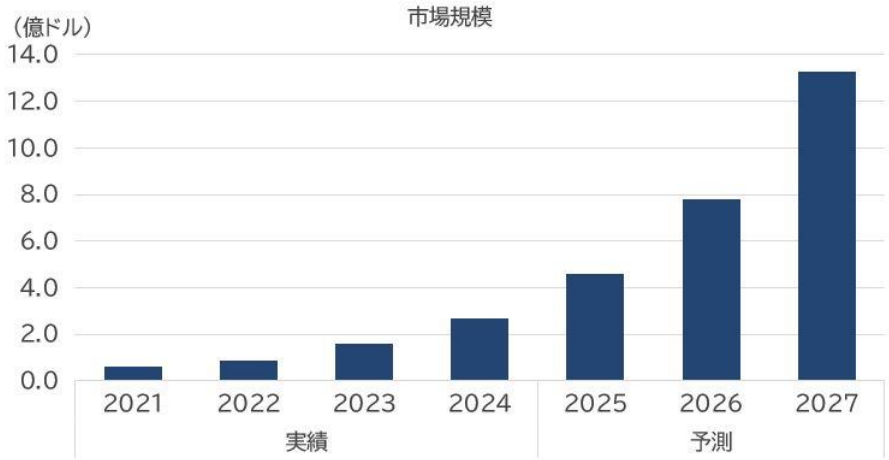
2026年9月2日
株式会社SVPジャパン

SVP注目市場分析「ペロブスカイト太陽電池」を公開

～研究開発から商業化へ、量産・社会実装が市場形成のカギに～

会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「ペロブスカイト太陽電池-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ペロブスカイト太陽電池の世界市場



次世代太陽電池として世界的に注目を集めるペロブスカイト太陽電池。光吸収層にペロブスカイト結晶構造を持つ材料を用い、軽量・柔軟でフィルム状に加工できることから、従来の結晶シリコン太陽電池では設置が難しかった建物の壁面や低耐荷重屋根、モビリティーなど、新たな設置用途への展開が期待されている。2024年の世界市場は2.7億ドルと推定され、市場は研究開発中心の段階から、実証や量産化が進む商業化初期段階へ移行しつつある。各国の脱炭素政策や再生可能エネルギー導入拡大を背景に、中国では量産投資、欧州では高効率タンデム型、日本ではフレキシブル型の実証・開発が進展している。今後は、変換効率だけでなく、耐久性や量産性、コスト、認証・標準化への対応まで含めた事業化体制の構築が、本格普及に向けて重要になる。

■ペロブスカイト太陽電池の市場概況

研究開発中心だった市場が商業化へ動く中、スタートアップに加え、既存の太陽電池メーカーや材料関連企業など多様なプレーヤーの参入が広がっている。市場シェアは分散しており、今後の量産化や採用実績の積み上がりによって競争環境が大きく変わる可能性がある。業界は、原材料・機能材料からセル・モジュール製造、システムインテグレーター、最終用途まで幅広い企業で構成され、単体技術の優位性だけでなく、各工程をつなぐ事業基盤の構築が重要になっている。日本では政策支援のもと、建築物やインフラを中心に実証が進み、国内企業が持つ材料・製造技術や品質面での強みを生かせる余地も大きい。今後は、こうした技術・産業基盤を導入案件や事業モデルへ結び付け、国内外で競争力のある市場ポジションを築けるかが問われる。

■本レポートの構成

Ⅰ．市場の定義
Ⅱ．市場動向
Ⅲ．市場規模・予測
Ⅳ．マーケットシェア
Ⅴ．参入企業の動向
Ⅵ．業界構造
Ⅶ．課題
Ⅷ．日本市場の動向

←レポート全編を見る　クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ

■次回のテーマ

10月のテーマは「二酸化炭素回収・貯留（CCS）」と「直接空気回収（DAC）」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名	：	株式会社SVPジャパン
代表取締役	：	橋本　雅
所在地	：	東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-9　宮前ビル2F
設立年月日	：	1974年7月1日
事業内容	：	会員制のビジネス情報提供サービス
URL	：	https://www.svpjapan.com/

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン　DX推進部　デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com